NEWS LETTER No. 102

# 遊文通信

2020.May

### 今回の遊文通信は…

- 情報伝達産業の責務を考える
- テレワーク日記
- 2020 度も健康経営優良法人 に認定されました!
- ●新入スタッフのご紹介
- 「緊急事態宣言」に伴う業務 体制のお知らせ



株式会社 遊文舎 代表取締役 木 原 庸 裕

# 情報伝達産業の責務を考える

**──新型コロナ感染症問題を受けて** 

平素はお世話になっております。皆様方におかれましては 今回のコロナ騒動にまつわるご心労、慎んでお察し申し上げ ます。

「愚者は経験に学び、賢者は歴史に学ぶ」という格言がありますが、残念ながら今回の感染症問題は過去に類似するものがありません。20世紀最大のパンデミックといわれるスペイン風邪も、100年前とは公衆衛生や医療のレベルが現在と比較にならないため、単純には教訓化できません。とりわけ大きな違いは情報伝達の進化で、当時はポスター掲示しかできなかった広報が、現在はマスメディアと相乗してのスマホと SNS による発信が、一瞬にして全世界を駆け巡ります。

この伝達能力はマイナス面にも作用しています。専門家でさえ正解がわからない課題について、主観の入り交ざった情報が発信されるとその真偽が精査される間もなく第三者によって瞬く間に拡散される。情報が錯綜し、その情報が更に誇張され拡散される、いわば情報パンデミックとさえいえる様相を帯びている側面もあります。

情報産業に携わる人間として想いは複雑ですが、このような日々に圧し潰されることなく、今後も SDGs の目標めざす社会の一翼を担っていこうと、あらためて私見を纏めてみることにしました。

### 2つの行動指針のもとに

今回の騒動を受けての遊文舎の行動指針は2点です。

一つは従業員及び取引先様の心身ともの安全の徹底確保です。これはいわゆる3密対策や手洗い励行により感染リスクを限りなくゼロにすることを目指すものですが、その奥にある真意は従業員をウイルスからだけでなく社会の監視圧力、感染者への理不尽な迫害から徹底保護することにあります。

二つ目は一つ目の行動指針を堅持したうえでの社業の維持存続です。私たちは自社の事業領域である印刷業は社会の進化に貢献するものと自負しており、不要不急の仕事をしているとは考えていません。お客さまや社会の役に立ちその対価を得、社業を維持し雇用と納税の義務を果たすのは経営の責務であり、果たすべき義務と考えています。

この2つの行動指針をまっとうするための当面の施策は第4面にまとめ、ホームページにもアップしています。

### 感謝と寛容の利他心の共有

私たちは「感謝の気持ちを忘れずに、他者に対して寛容に」 という思いを常に共有しています。感謝の対象はお客様や取 引先様にとどまりません。

この非常時に懸命に私たちの命を守ってくれている医療従事者の皆様、ライフラインを守ってくれている物流・小売流通・生産者の皆様、前例のない事態に日々試行錯誤を重ねながら批判にもめげず職責全うを目指している公務員や行政の皆様。そんな方々の力で、私たちはこれからも企業活動を存続することができ、いずれは安定した生活を送る日がくるだろうと、感謝の気持ちを忘れません。

また多くの人が先の見えない閉塞感を抱える中、少しでも 心に余裕を持ち笑顔で清々しく人と接し、生活していく、そ んな利他心を行動判断の基準とすれば、いずれ良い形で自分 に返ってくる、逆もしかりと考えています。

### 短期決戦でウイルスとの共生を

テレワークの推進準備は以前から進めておりましたが、この度の緊急事態宣言にともない、一気呵成に全社的に取り組むこととなりました。在宅勤務率は60%と、まさに短期決戦の構えです。取引先様との連携も思った以上にスムーズで生産性と労働環境整備向上に今後も大きく役立ちそうです。

「コロナが落ち着いたら……」がすっかり挨拶の枕詞となった感がありますが、ウイルスが消滅することはないでしょうから、5月6日までの短期決戦で一旦総括して、いわゆる経済を回す方向に舵を切っていただくことを強く祈念します。

その後は日本独自のウイルスとの共生=自然との共生を模索することになるでしょう。一日も早いワクチン開発と、賢明な舵取りに期待しつつ、皆様への近況報告と変えさせていただきます。今後とも遊文舎をよろしくお願い申し上げます。



[大阪本社] 〒532-0012 大阪市淀川木川東4丁目17-31 TEL:06-6304-9325(代) FAX:06-6304-4995

[東京支店] 〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町 2 丁目 20-7 水道橋西口会館 8F

TEL: 03-5357-1420 FAX: 03-5357-1421

http://www.yubun.co.jp/ E-mail:info@yubun.co.jp 緊急事態宣言の発令に伴い、早々とテレワークに移行しましたが、下記のメリット・デメリットを感じています。



逆にレスポンスは 早くなったかも!

本社企画営業部 奥村 祐哉

### メリット

- ◆通勤時間が0分で、有効活用できる時間が増えました。勤務時間後に家事をすることやジョギングをすることが増えました。
- ◆得意先へのレスポンスが早くなりました。見積りやメール等、対応はいつもスピード感を意識していますが、どうしても外出中や打ち合わせなどで遅くなることもあります。しかし、基本在宅なので、すぐに対応することがいつも以上に早くできるようになりました。

### デメリット

◆仕事を制作に手配する時、お客様の意向を伝える ための情報伝達がやりにくいことです。直接話し ができないので、チャットやメールで伝えること が多く、ときには PDF データに分かりやすいよ うに注釈を書き込んでいます。慣れもあると思い ますがいつも以上に時間はかかっています。

- ◆お預かりした原稿は、基本的に社外持ち出し禁止 となっているので、出社メンバーにコピーを頼み、 FAX または発送してもらいます。工程が増え時 間がかかります。
- ◆運動不足になります。通勤時の自転車で30分、 得意先への訪問時に歩く、階段の昇り降り(会社 は4階まであり階段の昇り降りが多い)で動く ことが多かったのですが、全然動かないようにな りました。メリットのところにも書きましたがジョギングするようにしています。

上記以外にもメリット・デメリットは感じていますが、お客様にはご迷惑をおかけしないよう取り組みいたしますので今後ともよろしくお願いいたします。あと、今増えているオンライン飲み会は続けていこうと思っております(笑)。

### コロナウイルスの感染リスクを避けるためにテレワークを実施していく中で良かった点・3点、改善点・2点あります。

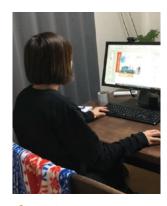
### メリット

- ◆通勤時間がゼロになったことです。通常ですと、 自宅から電車で2時間かけて通勤していました がそれがなくなりました。結果、睡眠時間が1 ~2時間多く取れ、昼休みも家で一人で自由に 過ごすことが出来ました。それにより、体調の良 し悪しの波が少なくなり仕事へのモチベーション と効率の双方の向上に繋がったと思います。
- ◆家にいる時間が増え家族との時間が出来たことです。夫は平日休み、土日仕事のサービス業ですれ違いの生活でしたが、常に家にいるので会話も増え、団らんする時間が持てました。また、私の趣味であるウォーキングも以前は仕事で疲れて出来なかったり夫との共通の時間が持てず一人で行っていましたが、今では二人で仲良く歩いています。テレワークで1日中家での生活ですが、1日1回のウォーキングで健康づくりにも励んでいます。
- ◆不要不急な外出を防げたことです。毎日ニュースを

見て不安な気持ちですが、感染リスクを最大限に回避することができています。私の家族や友人からは「いい会社に勤めているね」という声もあがっています。

### デメリット

- ◆常に一人でいるので孤独で寂しいことです。その 為、4月24日に同僚を集めて昼休みにオンライ ンランチ会を行いました。久しぶりに会社の人達 の声を聞くことができ、とても楽しかったです。
- ◆原稿や仕事の修正依頼がメールやチャットでのやり取りのため即対応ができないことです。実際に会って話すのとは違い意思疎通が難しく、メールや郵送の場合はタイムラグがあり、もどかしいときがあります。そのためメールの本文をできるだけわかりやすくしたり、以前よりもより一層注意を払い、修正を少なくできるよう努力し、社内やお客様とのやり取りを最大限抑えられるようにしています。



楽しく オンライン ランチ会

本社制作課

原田 絵美



**オンライン会議で** 一体感

東京支店営業推進 吉原 彩

東京支店では、大半の社員が、4月初旬より基本、在宅勤務という形で就業しています。業務 内容の関係で、全員とはいかないものの、短縮勤務と時差出勤で、出社人数を最小限にとどめ、 換気を頻繁に行いながら、業務にあたっております。一刻も早いコロナウイルス収束のために、 これからも、まず私自身ができること=在宅勤務という方法で感染予防に努めてまいります。

### メリット

- ◆在宅勤務が始まってからの変化としては、これまで毎朝部署単位で行っていたミーティングを、社員全員で行うようにしました。オンライン会議用アプリを使用して、ビデオ通話をつなぎ、顔を合わせることが、連絡事項の共有や、また、チームとしての一体感や各々のモチベーション維持に役立っていると感じています。
- ◆私は、勤務日の9割超の日数を自宅で勤務しています。自宅での勤務は、オンオフの切り替えが難しいと言われていますが、小学生の頃から使用している学習机に向かうと、習慣とは恐ろしいも

ので、自然と集中することができました。

◆生活スタイルとしては、往復あわせて 2 時間半の通勤時間の削減、満員電車への乗車によって抱えるストレスからの解放は、想像以上に大きなメリットでした。自身のエネルギーを 100%仕事に向けられる環境は非常にありがたいです。

### デメリット

◆メディアでも取り上げられていますが、やはり運動不足です。気休め程度に、時折立ち上がり、部屋の中をぐるぐる歩いたり、ストレッチをすることを心がけています。

# 新入スタッフのご紹介

# 2020年度も 健康経営優良法人に 認定されました!

2019 年度に初めて挑戦した経済産業省の健康経営優良法人認定(中小企業法人部門)に2020年度も認定を受けることができました。2020年度は4,723法人が認定、2019年度の2,503法人より大幅に増加しどんどん注目される制度となっています。

### 健康経営とは?

以前の認定時にも少しお話しましたが、健康経営とは「企業が従業員の健康に配慮することによって、経営面においても大きな成果が期待できる」との基盤に立って、健康管理を経営的視点から考え、戦略的に実践することを意味しています。従業員が心身共に健康なら元気に働ける、元気に働けたら生産性が上がる、生産性が上がれば会社の業績が上がる!というしくみを健康経営で作っていこうということです。

### 力を入れている取り組み

取り組みの中からいくつかご紹介します。

### ①みんなでストレッチ!健康セミナー

2年前から講師を呼んで健康セミナーを開催しています。デスクワーク中にできるストレッチなどを教えてもらいみんなで 実践したりしています。

### ②会社主催の懇親会&ビンゴ大会

従業員の心の健康のためにはコミュニケーションの充実はかかせません。年に一度、懇親会を開催し他部署との交流の場を設けています。





チームビルディングも実施! マシュマロタワー盛り上がりました

でもみんなの真の目的は豪華賞品が当たるビンゴ大会にあるかも… (笑) 一番盛り上がるイベントです。

### ③ノー残業デー取得率 UP!

ノー残業デーの取得率 100%を目指して社内でのアナウン スや従業員の取得状況の管理などワークライフバランスを整え る取り組みをしています。

### 意識の高まりを実感

取り組みを始めてから約2年、経済産業省の「経営面で大きな成果が期待できる」という戦略は数値で表すのが難しく、担当者としても分からないというのが正直な感想です。

しかし取り組みを始めて従業員同士のコミュニケーションの 場が増えたこと、遊文舎を働きやすい会社にしていこうという 意識が高まったことを実感しています。

何か新しいことを始めると会話が増え、チームワークが生まれます。その積み重ねが従業員の定着率につながり、会社の成長につながると信じて今後も取り組みを継続していきたいと思います。

(総務・経理 土井香織)

## 新 入 ス タ 「大阪本社・制化

【大阪本社・制作課】 中田 天 (Nakata Ten)

年 齢 | 29歳

出身地 | 大阪府大阪市

趣 味 | 映画鑑賞 (黒澤明、小津安二郎、 ヒッチコック etc)、美術・芸 術鑑賞 (川瀬巴水、ノーマン・ ロックウェル etc)、旅 (日本・ 世界問わず)、読書 (星新一、 太宰治、コナン・ドイル etc)

出身校|大阪芸術大学

初めまして!中田天と申します。

前職はレーザーを使った名入れギフト技師や店頭・等身大 POP などの制作に携わっており、その業務のなかで「印刷」というものをもっと深く知りたいと思い、昨年 10 月 15 日、遊文舎に入社しました。

学生時代は美術館や博物館の学芸員を目指していたので、多岐に亘って芸術を学ぶ必要があり、絵画や造形、文学、映画、写真など多くのジャンルに触れ、好奇心の赴くままに学び過ごしてまいりました。在学中は1年に100本(毎年)映画を観たり、本で得た知識をもとに旅に出て、実際に自分の目や鼻、肌で体験、体感したりと忙しい学生時代ではありましたが、それらは未だに自分の糧になっているので、行動(遊び?)していて良かったと思います。まだまだ印刷の知識は未知数ですが、少しでもその経験を現在の仕事に活かしていければと思っています。

入社してから現在まで先輩の皆様のご指導のもと、まるで学生の頃に戻ったかの様に勉強の日々ですが、焦らず急がず着実に一歩ずつ進んでまいります。元来、好奇心旺盛な分、知らないことがあるとどんどん覚えてゆこうという性格なので、楽しみながら仕事を覚え、出来るだけ早く一人前の戦力として役立てるよう成長したいです。制作デザイナーとしてより良いものを生み出してゆけるよう精進致しますので、これからもどうぞ宜しくお願い致します。

# テレワーク について

当初思っていたよりも不便さはなく、濃厚接触のリスクが減り、通勤時間(往復で2時間弱)が無くなりその時間を有効活用できるというそれぞれのメリットがあり、僕個人としては取り組んで良かったと考えています。顔を突き合わせて打ち合わせできないというデメリットもありますが、通信が発達している現在においてこの課題もクリアできるのではないかと思っています。今回のみならず「家庭や通勤の事情を優先して活用していく」と会社の方針を聞いているので、どんどん進めていくべき制度だと感じています。

株式会社 遊 文 舎

### 「緊急事態宣言」に伴う業務体制のお知らせ

昨日、政府より発令されました「緊急事態宣言」にて、大阪府が対象エリアに指定されました。それ に伴い、弊社におきましても当事者とならない、感染者を出さないことに最大限努めるため、業務体制 を下記の通りに変更させていただきますので、ご案内いたします。

### 1. 社内業務体制

- ・営業及び営業事務……テレワークによる在宅勤務に変更します。営業は関係各位への訪問を控え、電話・メール・郵送での対応を基本とさせていただきます。訪問の必要がある場合は、各位の状況を確認し、了承を得てからマスク着用で訪問します。
- ・制作デザイン……テレワークによる在宅勤務に変更します。会社から貸与する PC を自宅に設置し、VPN で社内ネットワークとの接続を行い、情報セキュリティに 対応します。
- 印刷・製本等、工場部門……時間差出勤や時短出勤の態勢で臨みます。業務中のマスク着用や手洗いの徹底等で予防に努めます。

### 2. 弊社へのご連絡について

総務経理をはじめ、東京支店を含めた全部署にて担当社員が出勤しておりますので、会社代表への電話・メール等でお願いいたします。ご来社については大変恐縮ではございますが、当面は自粛いただきますようお願い申し上げます。極力、対面によらない連絡手段での対応にご協力ください。緊急の案件でご来社される場合は、「マスク着用」「手指消毒の徹底」並びに出来る限り最少人数での対応にご協力いただけますようお願い申し上げます。

【連絡先】大阪本社 TEL:06-6304-9325 (代)

東京支店 TEL: 03-5357-1420

E-mail: info@yubun.co.jp

期間は4月8日(水)より緊急事態宣言が大阪府に適用されている間とさせて頂きます(※当面は5/6(水)頃を予定しておりますが、適用が延長された場合は、準じて延長させていただきます)。

今以上のコロナ蔓延を防ぐための社会的義務に努めつつ、業務遅滞の無い社内体制を構築し、各位へ ご迷惑を掛けないよう取り組んでまいりますので、何卒ご理解頂けますようお願い申し上げます。

### ■編集後記

皆さま大変な時期かとは思いますが、いかがお過ごしでしょうか?弊社では4月の上旬から順次テレワークに移行しております。私自身も在宅での勤務は初めての経験でしたが、最近ではだいぶ慣れてきました。緊急事態宣言も延長するかもしれませんが、皆さま健康第一にご自愛ください。GW はまだ出かけられない日々が続きますが、流行りのリモート飲み会などを友人と開催しようと考えています。一刻も早い終息を願い、私も当事者意識で感染予防に努めていきたいと思います。 (まるめがね)

### **■** 今月の紙

紙:テイク GA-FS 菊判 62.5kg